

沖縄タイムス記者・渡辺豪さんが語る～

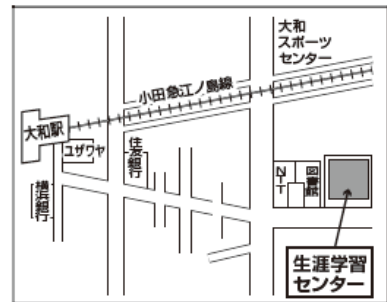
あらが
国策に抗う島・沖縄からの報告

～基地撤去をめざす県央共闘会議第14回定期総会・記念講演～



5月25日(土) 15時

大和市生涯学習センター207大会議室



▲大和駅下車徒歩10分

講師の渡辺豪さんは、92年毎日新聞社入社。北陸総局などを経て98年沖縄タイムス社入社。政経部基地担当などを経て特別報道チーム兼論説委員。主な著書に『「アメとムチ」の構図』（沖縄タイムス社）、『国策のまちおこし』（凱風社）、『私たちの教室からは米軍基地が見えます』（ボーダーインク）、『この国はどこで間違えたのかー沖縄と福島から見た日本』（徳間書店)など。最新著『波よ鎮まれ～尖閣への視座』（沖縄タイムス社WEB新書）では、八重山の地元の声に向き合い、沖縄から尖閣問題の論点を捉え直しています。県央共闘会議では、第14回定期総会の記念講演の講師を、この渡辺豪さんにお願ひしました。

オスプレイが普天間に強行配備され、新基地建設に向けた辺野古埋立て申請、4.28「主権回復の日」政府式典開催など、沖縄の思いを踏みにじる事態が続いています。また、「尖閣問題」を口実にして八重山への自衛隊配備や教科書問題など、安倍「9条改憲」政権の下で、沖縄の反戦平和の世論を国策に屈服させようという動きが強まっています。沖縄に渦巻く「日本本土住民一人ひとりにこれ以上の無関心を許さない怨念と憤怒の情」（「この国はどこで間違えたのか」）にどう向き合うのか。渡辺さんの報告と提起を受けながら、共に考えたいと思います。多くのみなさんの参加を呼びかけます。

主催：原子力空母の母港化に反対し基地のない神奈川をめざす県央共闘会議

連絡：厚木基地爆音防止期成同盟気付 ☎046-240-7450